

## 鳥取県の元気づくり施策の取組状況

平成29年7月

## 1. 「鳥取県元気づくり総合戦略」2年目の取組状況

- 取組は全体として概ね順調である。（既に達成あるいは順調：94.3%）
- KPIでは、ふれあい共生ホーム設置数、事業承継支援件数、障がい者雇用率など15項目で目標を達成。

## &lt;主なKPIの状況&gt;

- ・ IJUターンの受入者数 / 目標 (H27~H31年度) 6,000人 ⇒ 実績 (H27・H28年度) 3,974人 (速報値)
- ・ 正規雇用創出数 / 目標 (H27~H30年度) 10,000人 ⇒ 実績 (H27・H28年度) 5,874人
- ・ 外国人宿泊者数 (年間) / 目標 15万人 (H31) ⇒ 実績 10万人 (H28)
- ・ 子どもの貧困対策としての子どもの居場所の数 / 目標 15箇所 (H31) ⇒ 実績 14箇所 (H28)

## 2. 主な課題

## (1) 若者の転出超過対策

10代・20代の転出超過数は減少 (H27:▲1,524人→H28:▲1,298人) したが、社会減は続いており、若者のUターンを加速させるため、ターゲット別に戦略を立てて取り組む必要がある。また、全体の転出超過数は策定時から改善されていないことから、目標達成に向け、今後3年間でさらなる取組が必要。

## (2) 子育てしやすい環境づくり

男性の育児休業取得が進んでいないことから、男性育休奨励金やイクボス宣言企業の拡大に加え、企業の「働き方改革」を推進し、子育てしやすい職場環境づくりを進めていくことが必要。

## (3) 雇用のミスマッチ解消・雇用環境の整備

雇用のミスマッチ等により人材不足が生じており、効果的なマッチング支援、離職防止・定着支援などの取組を進めるとともに、企業の魅力ともなる働き方改革を推進する必要がある。

## (4) 外国人旅行者の誘客促進

鳥取県中部地震の影響等により、外国人宿泊数が伸びておらず、前年割れ (▲3%) となっており、引き続き、海外でのプロモーションや滞在型で外国人に訴求する魅力ある地域づくり、国際定期便の利活用など一層のインバウンド促進とともに、無料公衆無線LAN環境の整備や店舗・観光施設の外国語表記など、外国人旅行者の満足度を上げるさらなる受入体制強化の取組が必要。

## (5) 農業所得の向上

トップブランド化、新品種開発などにより、各分野毎の生産額は上昇に転じているが、本県農林水産業を活力あるものとするためには、農業所得の向上という観点で取組を進め、担い手の育成・確保を図ることが必要。若者にとって魅力的な職業となるよう農業高校や大学などと連携を強化し取組を進めることが必要。

## 3. 今後の取組（「鳥取県元気づくり総合戦略」の改訂、H29.7）

## (1) 地方創生の取組深化に向けた改訂

- 新たに『鳥取ならではの「防災文化づくり」』を章立てし、災害時の支え愛活動の推進、地域防災リーダーや避難所運営リーダーの養成、支え愛避難所への支援、災害時の障がい者等への支援について新たに記載した。
- 新たに「子育て・介護など、家庭と仕事が両立できる環境づくり」を章立てし、多様で柔軟な働き方の導入や男性が育児休業・介護休業を取得しやすい環境づくりなど、「働き方改革」の推進について記載した。
- 女性にとって暮らしやすい地域を官民挙げてつくっていくことや、イクボス・ファミボスの普及など、女性活躍推進の取組について記載した。

- 県立ハローワーク設置による求職者と企業のマッチング強化、職業能力開発総合大学校基盤整備センターと連携した高度人材育成、国際経済変動に対応した県内企業支援など、雇用・経済対策の取組について記載した。
- 県外の若者や都市圏の女子をターゲットとした移住の取組について記載した。
- サイクリング、トレイルなどの観光素材を活用した誘客のほか、開山1300年を迎える大山における取組、民泊等による滞在型の観光地づくりについて記載した。

(2) 重要業績評価指標（KPI）の改訂

- 10項目のKPIを上方修正した。
    - IJUターンの受入者数：6,000人(5年間)→8,000人(5年間)
    - 子どもの貧困対策としての子どもの居場所の数：15箇所→30箇所
  - 8項目のKPIを新設した。
    - 事業承継の成約件数：30件（H29～31年度） ※H27～28年度実績：10件
    - 養殖による水揚量：2,500t（H31年漁期） ※H28 漁期：706t
- ⇒ KPI数（現行159項目→改訂後162項目）※新設8項目、削除5項目→3項目の増